

## 業績 (2018 年度)

### A. 原著論文

1. Tashiro M, Naito T, Kagawa Y, Kawakami J. Influence of cytochrome P450 genotype on the plasma disposition of prochlorperazine metabolites and their relationships with clinical responses in cancer patients. *Ann Clin Biochem* 53(3): 385–393, 2018.
2. Miyadera Y, Naito T, Yamada T, Kawakami J. Simple LC-MS/MS methods using core-shell octadecylsilyl microparticulate for the quantitation of total and free daptomycin in human plasma. *Ther Drug Monit* 40(5): 589–595, 2018
3. Shida H, Naito T, Shibata K, Yamada Y, Kawakami J. LC-MS/MS method for denosumab quantitation in human serum with rapid protein digestion using immobilized trypsin. *Bioanalysis* 10(18): 1501–1510, 2018
4. Tanaka H, Naito T, Sato H, Hiraide T, Yamada Y, Kawakami J. Impact of CYP genotype and inflammatory markers on the plasma concentrations of tramadol and its demethylated metabolites and drug tolerability in cancer patients. *Eur J Clin Pharmacol* 74(11): 1461–1469, 2018
5. Imatoh T, Sai K, Takeyama M, Hori K, Karayama M, Furuhashi K, Segawa K, Kimura M, Kawakami J, Saito Y. Identification of risk factors and development of detection algorithm for denosumab-induced hypocalcaemia. *J Clin Pharm Ther* 44(1): 62–68, 2019
6. Hoshikawa K, Naito T, Saotome M, Maekawa Y, Kawakami J. LC-MS/MS method for simultaneous quantitation of tolvaptan and its five major metabolites in human plasma. *Ann Clin Biochem* (In press, 2019)
7. Yoshikawa N, Naito T, Yagi T, Kawakami J. Impact of cachexia and opioid analgesic co-treatment on pregabalin pharmacokinetics and central nervous system symptoms in cancer patients. *Ther Drug Monit* (In press, 2019)

### B. 論文形式のプロシーディング

1. 見野靖晃, 内藤隆文, 下山久美子, 小川法良, 川上純一: ACB 論文紹介 ミコフェノール酸曝露量と血清補体成分 C3 は全身性エリテマトーデス患者におけるイノシン酸脱水素酵素活性に影響を与える. *臨床化学* 47(2): 197, 2018

### C. 総説

1. Naito T. Optimization of individual pharmacotherapy based on the multiple evaluations of

- patient data. Biol Pharm Bull 42(2): 149-157, 2019
2. 川上純一: 佐藤記念国内賞受賞 内藤隆文氏の業績. ファルマシア 54: 364, 2018
  3. 川上純一: 平成 30 年度診療報酬改定: 地域包括ケアシステムの構築に向けて. 日本病院薬剤師会雑誌 54: 379-382, 2018
  4. 川上純一, 篠原久二子, 山村真一, 吉岡睦展: 平成 30 年度診療報酬改定: 薬剤師への期待にどう応えるか. 「月刊薬事」・「調剤と情報」2 誌合同座談会, 月刊薬事 60: 1415-1422, 2018
  5. 川上純一, 篠原久二子, 山村真一, 吉岡睦展: 薬剤師への期待にどう応えるか: 平成 30 年度診療報酬改定. 「月刊薬事」・「調剤と情報」2 誌合同座談会, 調剤と情報 24: 1278-1285, 2018
  6. 川上純一: ジェネリック医薬品及びバイオシミラーの使用促進に向けて. JGA (Japan Generic Medicines Association) News 125: 3-4, 2018
  7. 青野浩直, 八木達也, 見野靖晃, 川上純一: フォーマルラーの考え方とその必要性: 新薬およびジェネリック・バイオシミラーの適正使用を推進するために. 日本病院薬剤師会雑誌 54: 1113-1116, 2018
  8. 川上純一: くすりの知識と上手な使い方: 健康はつらつゼミ. しずおか健康長寿財団, すこやか長寿 No. 81 (2019.1), p8-9
  9. 柴田海斗: 第 16 回 IATDMCT 学術大会に参加して. TDM 研究 36(1): 6-7, 2019
  10. 阿部一樹: 「第 16 回 IATDMCT 学術大会」参加印象記. TDM 研究 36(1): 1-3, 2019
  11. 青野浩直, 八木達也, 見野靖晃, 川上純一: フォーマルラーの考え方とその必要性: 新薬およびジェネリック・バイオシミラーの適正使用を推進するために. 日病薬雑誌 54(9): 1113-1114, 2018
  12. 八木達也: 術後患者におけるデクスメデトミジンによる神経保護作用および有害作用の個人差に着目した至適投与法の確立. 薬学研究所の進歩 35: 117-122, 2019
  13. 見野靖晃: 15 痛風・高尿酸血症. 小川竜一 (編), 月刊薬事 2018 年 10 月臨時増刊号 (Vol.60 No.14) 薬物療法問題集 コモンな 50 疾患・150 題で実力がつく!, 2018, p92(2592)-95(2595)
  14. 見野靖晃: 23 骨粗鬆症. 小川竜一 (編), 月刊薬事 2018 年 10 月臨時増刊号 (Vol.60 No.14) 薬物療法問題集 コモンな 50 疾患・150 題で実力がつく!, 2018, p138(2638)-142(2642)
  15. 八木達也: 26 外科手術時の抗菌薬予防投与. 小川竜一 (編), 月刊薬事 2018 年 10 月臨時増刊号 (Vol.60 No.14) 薬物療法問題集 コモンな 50 疾患・150 題で実力がつく!, 2018, p156(2656)-159(2659)

16. 山田尚広: 11 慢性閉塞性気管支症候群. 小川竜一 (編), 月刊薬事 2018 年 10 月臨時増刊号 (Vol.60 No.14) 薬物療法問題集 コモンな 50 疾患・150 題で実力がつく!, 2018, p70(2570)-74(2574)
17. 影山卓矢: 24 関節リウマチ. 小川竜一 (編), 月刊薬事 2018 年 10 月臨時増刊号 (Vol.60 No.14) 薬物療法問題集 コモンな 50 疾患・150 題で実力がつく!, 2018, p144(2644)-147(2647)
18. 見野靖晃: 免疫アレルギー疾患. 根本英一 (編), 薬局 2019 年 3 月増刊号 (Vol.70, No4) 薬トレ 薬剤師の臨床センスを磨くトレーニングブック, 2019, p87-125
19. 内藤隆文: 日本薬学会佐藤記念国内賞を受賞して. 静岡県病院薬剤師会会報. 70: 30, 201
20. 内藤隆文. 新任職員の紹介. NEWSLETTER. 45: 7, 2018
21. 内藤隆文. 疼痛治療薬使用時に注意すべき薬物相互作用. モニタリングから介入まで自信をもって対応できる薬物相互作用 (特集). 月刊薬事. 61(4): 663-666, 2019

#### D. 記事・寄稿

1. 川上純一: 薬物治療の「コア」な部分に専門性発揮を: 18 年度改定でより期待される医薬・薬業連携. Pharmacy Newsbreak No. 1149, 2018.4.2, p4-5
2. 川上純一: 18 年度改定で適正使用を今まで以上に促進: 日本病院薬剤師会・川上純一副会長インタビュー. 薬事ニュース No. 4354, 2018.4.13, p10
3. 川上純一: 多職種連携や研修の企画、実践に向けて自信高まる: 日薬、薬剤師生涯教育推進事業で報告書. Pharmacy Newsbreak No. 1171, 2018.5.8, p2-3
4. 川上純一: オール薬剤師の方向性: 日病薬 2 期目の木平体制始動. 薬事日報 No. 12033, 2018.6.20, p1
5. 川上純一: 日薬・山本会長を正式 3 選、新執行部が発足: 新副会長に川上、安部の両氏. Pharmacy Newsbreak No. 1205, 2018.6.25, p.2-3
6. 川上純一: 川上純一氏 (日病薬副会長) が特別講演: 日病薬東北ブロック第 8 回學術大会. 薬事新報 No. 3049, 2018.6.14, p.3
7. 川上純一: 平成 30・31 年度の役員を決定: 日本病院薬剤師会第 57 回通常総会. 薬事新報 No. 3050, 2018.6.21, p.2-3
8. 川上純一: 3 期目の山本執行部発足 日薬定時総会: 山積する課題に最大限努力. 薬事日報 No. 12036, 2018.6.27, p.1
9. 川上純一: 次期理事 (30 名・6 新人) が決定: 日本薬剤師会第 91 回定時総会. 薬事新報 No. 3051, 2018.6.28, p.2-3

10. 川上純一: 日薬・山本新執行部が正式に発足: 新副会長に安部・川上氏、新常務理事に荻野・豊見氏. 薬事ニュース No. 4365, 2018.6.29, p.1
11. 川上純一: 日薬・日病薬 執行部が発足: 変革の時代、問われる手腕. 薬事日報 No. 12041, 2018.7.9, p.8
12. 川上純一: 新分科会長に尾形氏、筒井氏ら退任: 再編した入院分科会. メディファクス No. 7829, 2018.7.13, p2
13. 川上純一: 広がる薬局と医療機関の連携による PBPM: 日病薬・川上副会長「薬局薬剤師に期待するところは大きい」(時事解説). Pharmacy Newsbreak No. 1268, 2018.9.27, p.1-2
14. 川上純一: Interview: かかりつけ機能は病薬の病棟業務推進に不可欠、「今後の継続的な薬学的管理」の薬歴記載にも期待. 検証 18 年度調剤報酬改定「期待」に応えられるか, Pharmacy Newsbreak 特別編集 2018.9.30
15. 川上純一: 日病薬・川上副会長、薬剤師派遣「容認できない」: 病院等での「調剤」は禁止対象. 薬事日報 No. 12093, 2018.11.14, p.1
16. 川上純一: 日薬・山本会長、病院薬剤部の外部委託懸念: 日病薬副会長発言に同調. 薬事日報 No. 12095, 2018.11.19, p.2
17. 川上純一: バイオシミラー、「医療現場に受けいれられていないわけではない」: 学会による診療ガイドラインでバイオシミラーの利用の提示が重要. 日経バイオテク online, 2018.11.20, <https://bio.nikkeibp.co.jp/atcl/news/p1/18/11/18/05010/>
18. 川上純一: PMDA・審査安全委 次期中期計画で「審査期間の堅持」に異論なし. リスファクス No. 7688, 2018.12.19, P.3
19. 川上純一: 改正薬事法の支柱は「医薬品開発」日病薬・川上副会長 添付文書電子化は「実態に応じ注意」. リスファクス No. 7712, 2019.1.31, P.1
20. 川上純一: 日病薬・川上副会長 病薬と薬局、連携した患者支援が「本来の医薬分業」. リスファクス No. 7712, 2019.1.31, P.4
21. 川上純一: 日薬副会長所属病院で敷地内薬局など公募: 浜松医科大、提案施設は外来棟正面. Pharmacy Newsbreak No. 1357, 2019.2.13, p.1-2
22. 川上純一: 日薬臨時総会: 薬剤師以外ができる業務、森副会長「明確化できない」. 薬事日報 No. 12138, 2019.3.13, p.1
23. 川上純一: 医療費抑制と高額療養費、切り離して議論を: BS 阻害要因論で浜松医科大病院・川上氏. 日刊薬業 No. 15112, 2019.3.19, p6-7
24. 内藤隆文. 冒頭文. JSHP Mail News No.382. 2018 年 9 月 10 日
25. 内藤隆文. 冒頭文. JSHP Mail News No.390. 2018 年 11 月 22 日

26. 内藤隆文. 冒頭文. JSHP Mail News No.397. 2019 年 2 月 18 日

27. 内藤隆文. 冒頭文. JSHP Mail News No.405. 2019 年 4 月 15 日

#### E. ケースレポート

1. Yoshikawa N, Ohashi N, Tsuji T, Nagata S, Naito T, Yasuda H, Kawakami J. Is dose adjustment of prednisolone required in patients with IgA nephropathy during rifampicin treatment for mycobacterium avium complex lung disease? Ther Drug Monit (In press, 2019)

#### F. 著書・翻訳

1. 内藤隆文, 川上純一: 3・7 免疫・アレルギー疾患, 第 3 章 チーム医療, 第 I 部 チーム医療への参画, 日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会・日本医療薬学会 (編集), 臨床薬学 III. チーム医療および地域の保健・医療・福祉への参画, スタンダード薬学シリーズ II 7, 東京化学同人, 東京, 2018, p.100-109
2. 川上純一, 内藤隆文 (分担執筆): 臨床検査データブック 2019-2020. 高久史磨監修, 黒川清, 春日雅人, 北村聖編集, 医学書院, 2019, 東京. (内藤隆文, 川上純一: ラモトリギン p.779, クロバザム p.782, N-アセチルプロカインアミド p. 787.
3. 川上純一, 伊賀立二: クロルプロマジン p. 784, イミプラミン p. 784, アミトリプチリン p. 784, アプリンジン p. 789, パラコート p. 797-798)
4. 堀雄史, 川上純一: 第 1 章 薬物治療の基礎. 井上智子, 窪田哲朗編, 臨床薬理学 第 1 版第 3 刷 (系統看護学講座 別巻), 医学書院, 東京, 2019, p. 6-36
5. 見野靖晃, 内藤隆文: カルシニューリン阻害薬 (腎移植). 日本 TDM 学会/日本移植学会 (編), 免疫抑制薬 TDM 標準化ガイドライン 2018 [臓器移植編] 第 2 版, 2018, p8-11, 32-85 (他執筆者と共著)
6. 見野靖晃, 内藤隆文: ミコフェノール酸. 日本 TDM 学会/日本移植学会 (編), 免疫抑制薬 TDM 標準化ガイドライン 2018 [臓器移植編] 第 2 版, 2018, p24-26, 86-105
7. 見野靖晃, 川上純一: 薬物血中濃度. 加藤明彦 (編), いまさら訊けない 透析患者検査値のみかた, 考え方 Ver.2, 2018, p256-259
8. 袴田晃央, 大城隼也, 堀雄史, 大石彰, 内田季之: 妊娠と薬外来の紹介 - 拠点病院の取り組み. 浜松医科大学医学部附属病院 (編), 知っておきたい, 病気のこと, 治療のこと 浜松医科大学医学部附属病院の最新医療, 2019, p111
9. 川上純一, 見野靖晃: 地域薬局との連携によりシームレスな薬物治療をサポート. 浜松医科大学医学部附属病院 (編), 知っておきたい, 病気のこと, 治療のこと 浜

松医科大学医学部附属病院の最新医療, 2019, p126

10. 内藤隆文 (分担執筆). モデル・コアカリキュラムに沿ったわかりやすい新実務実習テキスト 2019-2020. 病院・薬局実務実習東海地区調整機構/監、実務実習テキスト作成研究会/編, じほう, p.35-38, p.95-98, 東京, 2018

## G. 学会活動

### 【特別講演・シンポジウム・受賞講演など】

#### 国際学会

1. Naito T. Value and challenges of hospital pharmacy applications of point-of-care testing (POCT), Our emerging role in point-of-care testing (Organized by the FIP Hospital Pharmacy Section in collaboration with the FIP Clinical Biology Section and the FIP Community Pharmacy Section). World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 2018; 78th International Congress of FIP. Sep 2018 (Glasgow, Scotland, UK)

#### 国内学会

1. 内藤隆文: 患者情報の多面的評価に基づく薬物治療の適正化. 第 41 回佐藤記念国内賞受賞講演. 医療薬学フォーラム 2018/第 26 回クリニカルファーマシーシンポジウム. 2018 年 6 月 (東京)
2. 内藤隆文: 抗体医薬の TDM の普及のためのヒト血清中濃度測定の実験ワークフローの構築. 学術奨励賞 (抱負), 臨床薬理研究振興財団賞, 臨床薬理研究振興財団, 第 39 回日本臨床薬理学会年会. 2018 年 7 月 (京都)
3. 内藤隆文, 田中紀章, 八木達也, 川上純一. 周術期における鎮痛薬の体内動態および臨床効果の個人差要因. 周術期管理における薬剤師業務を確立する～基礎と臨床の連携～. 医療薬学フォーラム 2018/第 26 回クリニカルファーマシーシンポジウム. 2018 年 6 月 (東京)
4. 内藤隆文. がん病態時における医薬品の体内動態および薬効・有害反応の個人差要因. がん治療研究の新展開: 薬物動態と薬効・副作用の制御. 第 28 回 日本病院薬剤師会東海ブロック学術大会. 平成 30 年度日本薬学会東海支部例会. 合同学術大会 2018. 2018 年 11 月 (静岡)
5. 内藤隆文. TDM の観点から見る免疫抑制薬. 薬学的見地から見た免疫抑制療法. 第 45 回日本臓器保存生物医学会学術集会. 2018 年 11 月 (名古屋)
6. 内藤隆文. 抗体医薬品の血中濃度測定と臨床的意義. 薬学的見地から見た免疫抑制療法抗体医薬品の個別化医療へ向けての第一歩～低分子医薬品とは異なる考え方～. 第 28 回日本医療薬学会年会. 2018 年 11 月 (神戸)

7. 八木達也, 田中紀章, 三浦基靖, 内藤隆文, 川上純一. 重症患者において薬物動態・薬効・有害作用の発現はどのように変化するのか? -鎮痛鎮静薬・抗菌薬の研究を通して-. 救急・集中治療の臨床薬剤業務により見えてきたクリニカル・クエスションの解決—最適な薬物治療の確立に向けて—. 第28回日本医療薬学会年会. 2018年11月(神戸)
8. 山田尚広, 見野靖晃, 内藤隆文, 川上純一. 感染制御領域で薬剤師が創出するエビデンスと臨床応用. 第139回日本薬学会年会. 2019年3月(千葉)
9. 内藤隆文. セツキシマブのTDM. Precision dosing を目指したTKIと抗体医薬品のTDM. 日本臨床腫瘍薬学会学術大会2019. 2019年3月(札幌)
10. 見野靖晃: TDMに関する臨床研究. 第35回日本TDM学会・学術集会 2018年5月(福岡)

#### 【一般発表】

##### 国際学会

1. Shibata K, Naito T, Okamura J, Hosokawa S, Mineta H, Kawakami J. Proteomics-based analytical method for the absolute quantitation of cetuximab in human serum and its clinical application. 18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018). July 2018 (Kyoto, Japan)
2. Yagi T, Naito T, Kato A, Hirao K, Hori K, Kawakami J. Detection of drug interaction between warfarin and antimicrobial agents based on administration routes and antimicrobial susceptibility to *Bacteroides fragilis*. 34th International Conference on Pharmacoepidemiology & Therapeutic Risk Management (ICPE). Aug 2018 (Prague, Czech Republic)
3. Tanaka H, Naito T, Sato H, Hiraide T, Yamada Y, Kawakami J. Impact of CYP genotype and serum IL-6 on the plasma disposition of tramadol and its desmethylates and drug tolerability in cancer patients. World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 2018; 78th International Congress of FIP. Sep 2018 (Glasgow, Scotland, UK)
4. Taguchi R, Naito T, Kubono N, Ogawa N, Itoh H, Kawakami J. Relationship between biomarkers for CYP3A activity and amlodipine metabolism in postpartum women. World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 2018; 78th International Congress of FIP. Sep 2018 (Glasgow, Scotland, UK)
5. Shibata K, Naito T, Okamura J, Hosokawa S, Mineta H, Kawakami J. Relationships between serum cetuximab and biomarkers related to EGFR signal inhibition, and skin

- disorders in head and neck cancer patients. 16th International Congress of Therapeutic Drug Monitoring & Clinical Toxicology (IATDMCT2018). Sep 2018 (Brisbane, Austraria)
6. Abe K, Shibata K, Naito T, Kawakami J. Simple and rapid LC-MS/MS method for quantifying nivolumab in human serum using an immobilized tryptic digestion coupled to IgG purification. 16th International Congress of Therapeutic Drug Monitoring & Clinical Toxicology (IATDMCT2018). Sep 2018 (Brisbane, Austraria)
  7. Suzuki K, Naito T, Tanaka H, Yamada Y, Itoh K, Kawakami J. An enantiomeric quantitation of tramadol and its metabolites in human plasma and evaluation of cytochrome P450-mediated stereoselective demethylation. 120th Annual Meeting of the American Society for Clinical Pharmacology and Therapeutics (ASCPT 2019 Annual Meeting). Mar 2019 (Washington DC, USA)
  8. Hoshikawa K, Naito T, Saotome M, Maekawa Y, Kawakami J. Relationships between plasma concentration of tolvaptan and endogenous markers of CYP3A in heart failure patients. 120th Annual Meeting of the American Society for Clinical Pharmacology and Therapeutics (ASCPT 2019 Annual Meeting). Mar 2019 (Washington DC, USA)

#### 国内学会

多数のため省略

#### 【学会等における座長、オーガナイザー】

##### 国内学会

1. 川上純一: 静岡病院薬剤師会西部支部学術講演会, 座長, 特別講演 (DPP-4 阻害薬 / メトホルミン配合剤 1 日 1 回投与の有用性, 静岡赤十字病院糖尿病・内分泌代謝内科部長村上雅子先生), 浜松, 2018.4.5
2. 川上純一: 静岡病院薬剤師会西部支部例会, 座長, 特別講演 (多様性社会における進行再発大腸癌の一次化学療法をどう考えるか?, 浜松医科大学臨床腫瘍学講座教授山田康秀先生), 浜松, 2018.4.19
3. 川上純一: 県西部女性医療を考える会, 静岡病院薬剤師会西部支部, 座長, 特別講演 (女性のライフステージにおける女性ホルモンの役割, 浜松医科大学病院長金山尚裕先生), 浜松, 2018.4.25
4. 川上純一: 平成 30 年度静岡病院薬剤師会中堅研修会, 座長, 特別講演 (行政から病院薬剤師への期待, 厚生労働省保険局医療課薬剤管理官中山智紀先生), 浜松, 2018.5.12



5. 川上純一: 日本薬剤学会第 32 年会, 座長, 特別講演 (外来でよくみかける糖尿病患者の息切れ, 大西内科ハートクリニック大西勝也先生), 静岡, 2018.6.1
6. 川上純一: 静岡病院薬剤師会西部支部例会, 座長, 特別講演 (IBD 治療における最新の知見について, 浜松医科大学第一内科准教授杉本健先生), 浜松, 2018.7.18
7. 川上純一: 静岡県病院協会・静岡県病院薬剤師会平成 30 年度第 1 回医療安全推進研修会, 座長, 特別講演 (変動と制約下での医療安全: レジリエンス・エンジニアリング, 大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部教授中島和江先生), 静岡, 2018.10.5
8. 川上純一: 静岡県病院協会・静岡県病院薬剤師会平成 30 年度第 2 回医療安全推進研修会, 企画, 特別講演 (医薬品安全管理に関する最近の話題: ハイリスク薬など, 上尾中央総合病院情報管理部医療安全管理課長渡邊幸子先生), 静岡, 2018.10.17
9. 川上純一: 静岡病院薬剤師会西部支部例会, 座長, 特別講演 (EBM とチーム医療: RA 治療戦略、残りのピースを埋めていく, 昭和大学膠原病内科助教・医局長高橋良先生), 掛川, 2018.10.18
10. 川上純一: 日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2018 (第 28 回日本病院薬剤師会東海ブロック学術大会・平成 30 年度日本薬学会東海支部例会), 大会長, 東海から、未来の薬学・医療を築く!, 静岡, 2018.11.4
11. 川上純一: 静岡病院薬剤師会西部支部例会, 座長, 特別講演 (トリグリセリドと動脈硬化症, 昭和大学医学部内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科学部門教授平野勉先生), 浜松, 2018.11.21
12. 川上純一: 第 28 回日本医療薬学会年会, オーガナイザー・座長, シンポジウム (薬剤師がけん引するジェネリック医薬品の適正しよう: 医薬品品質情報をいかに活用するか?), 神戸, 2018.11.24
13. 川上純一: 第 28 回日本医療薬学会年会, 座長, メディカルセミナー (Use of drug vial optimization to decrease drug waste, Dr. Lindsey B. Amerine, Associate Director, Department of Pharmacy, University of North Carolina Medical Center Chapel Hill, North Carolina), 神戸, 2018.11.24
14. 川上純一: 県西部女性医療を考える会, 静岡病院薬剤師会西部支部, 座長, 特別講演 (周産期における医薬品の安全性について: 漢方薬を上手に使うコツ、服薬指導の実際, 浜松医科大学附属病院産婦人科講師中山毅先生), 浜松, 2018.12.13
15. 川上純一: 静岡病院薬剤師会西部支部例会, 座長, 特別講演 (糖尿病治療をどの様に考えるか: I型・II型を含めて, 浜松医科大学内科学第二講座診療助教釣谷大輔先生), 浜松, 2019.1.16

16. 川上純一: 第 40 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 座長, ランチョンセミナー (悪性リンパ腫の診断・治療におけるチーム医療の重要性, 奈良県総合医療センター血液・腫瘍内科部長八木秀男先生), 奈良, 2019.1.19
17. 川上純一: Pharmacy of University 研究会 (武田薬品工業), 座長 (新薬創出に向けたオープンイノベーションへの取り組み, Axcelead Drug Discovery Partners (株) 代表取締役社長池浦義典先生; パーキンソン病治療 Update, 愛媛大学医学部附属病院臨床研究支援センター長永井将弘先生), 東京, 2019.1.26
18. 川上純一: 病棟薬剤業務におけるスキルアップを考える会 HOPS (Hospital Pharmacists' Skill Up) (第一三共), 座長 (高齢者における医薬品適正使用, 国立長寿医療研究センター薬剤部溝神文博先生), 浜松, 2019.1.30
19. 川上純一: 静岡県病院薬剤師会総会学術講演会, 座長 (非小細胞肺がんがん化学療法における制吐療法の進歩, 浜松医科大学医学部臨床薬理学講座准教授乾直輝先生), 静岡, 2019.3.3
20. 内藤隆文: 一般口演 (がん薬物療法 (支持療法 1)). 第 28 回日本医療薬学会年会. 2018 年 11 月 (神戸)
21. 見野靖晃: 一般演題口頭⑤ 第 12 回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム. 2018 年 9 月 (札幌)

#### H. 学会・会議開催

第 10 回研究室リトリート, 浜松, 2018 年 7 月

#### I. 学会等における役職

1. 川上純一: 日本病院薬剤師会 副会長
2. 内藤隆文: 日本病院薬剤師会 広報・出版部 部員
3. 堀雄史: 日本病院薬剤師会 医療安全対策委員
4. 川上純一: 静岡県病院薬剤師会 会長
5. 青野浩直: 静岡県病院薬剤師会 理事
6. 内藤隆文: 静岡県病院薬剤師会 評議員
7. 川上純一: 日本薬剤師会 副会長
8. 川上純一: 日本薬剤師会 病院診療所薬剤師部会 部会長
9. 川上純一: 日本医療薬学会 理事
10. 内藤隆文, 堀雄史: 日本医療薬学会 代議員
11. 川上純一: 日本医療薬学会 財務委員会 委員長

12. 川上純一: 日本医療薬学会 医療薬学学術委員会 委員
13. 川上純一: 日本医療薬学会 公益社団法人化検討特別委員会 委員
14. 川上純一: 日本医療薬学会 学会発表に係る研究倫理への適用及び個人情報の取扱いに関する検討ワーキンググループ 委員
15. 内藤隆文: 日本医療薬学会 学術貢献賞・奨励賞等選考委員会 委員
16. 川上純一, 内藤隆文: 日本臨床薬理学会 社員
17. 川上純一: 日本臨床薬理学会 広報委員会 委員
18. 川上純一: 日本臨床薬理学会 東海・北陸支部 支部世話人
19. 見野靖晃: 日本薬学会 医療薬科学部会 次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム若手世話人
20. 川上純一, 内藤隆文: 日本薬学会 代議員
21. 川上純一: 日本薬学会 東海支部 幹事
22. 川上純一: 日本薬物動態学会 代議員
23. 川上純一: 日本薬剤学会 代議員
24. 川上純一: 日本薬剤疫学会 理事
25. 堀雄史: 日本薬剤疫学会 学会誌 (薬剤疫学) 編集委員
26. 川上純一: 日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会 理事
27. 川上純一: 日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会 国際委員会 副委員長
28. 内藤隆文, 見野靖晃: 日本 TDM 学会 TDM ガイドライン策定委員会 委員
29. 内藤隆文: 日本 TDM 学会 評議員
30. 内藤隆文: 日本緩和医療薬学会 社員
31. 八木達也: 国公立大学病院感染対策協議会 ガイドライン作業部会 抗菌薬適正使用ガイドライン作成担当委員
32. 川上純一: 静岡県立大学 客員教授
33. 川上純一: 静岡県立大学 研究倫理審査委員会 委員
34. 川上純一: 厚生科学審議会 委員
35. 川上純一: 厚生科学審議会 疾病対策部会 委員
36. 川上純一: 厚生科学審議会 再生医療等評価部会 委員
37. 川上純一: 厚生科学審議会 臨床研究部会 委員
38. 川上純一: 厚生労働省 中央社会保険医療協議会・保険医療専門審査員 (薬価算定組織 委員長代理)
39. 川上純一: 厚生労働省 中央社会保険医療協議会・保険医療専門審査員 (診療報酬調査専門組織 入院医療等の調査・評価分科会 委員)

40. 川上純一: 厚生労働省 中央社会保険医療協議会・保険医療専門審査員 (診療報酬調査専門組織 医療機関のコスト調査分科会 委員)
41. 川上純一: 厚生労働省 中央社会保険医療協議会・保険医療専門審査員 (費用対効果評価専門組織 委員)
42. 川上純一: 厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 委員
43. 川上純一: 厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 薬事分科会 委員
44. 川上純一: 厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 医薬品第一部会 委員
45. 川上純一: 厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 医薬品第二部会 委員
46. 川上純一: 厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 医薬品再評価部会 委員
47. 川上純一: 厚生労働省 社会保障審議会 医療分科会 委員
48. 川上純一: 厚生労働省 社会保障審議会 療養病床の在り方等に関する特別部会 委員
49. 川上純一: 厚生労働省 特定機能病院及び地域医療支援病院のあり方に関する検討会 構成員
50. 川上純一: 厚生労働省 がん診療提供体制のあり方に関する検討会 構成員
51. 川上純一: 厚生労働省 医療放射線の適正管理に関する検討会 構成員
52. 川上純一: 厚生労働省 医政局経済課委託事業 後発医薬品使用促進ロードマップ検証検討事業検討委員会 委員
53. 川上純一: 厚生労働省 医政局経済課委託事業 バイオ医薬品の使用促進に係る普及啓発等事業 委員
54. 川上純一: 厚生労働省 保険局医療課委託事業 平成 30 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査検討委員会 委員
55. 川上純一: 独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (PMDA) 審査・安全業務委員会 委員
56. 川上純一: 静岡県 薬事審議会 委員
57. 川上純一: 静岡県薬事振興会 理事
58. 川上純一: 静岡県薬剤師研修協議会 委員
59. 川上純一: 東海地区薬学部学生病院・薬局実務実習調整機構 委員
60. 川上純一: 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 研究成果展開事業 地域産学バリュープログラム 専門委員
61. 川上純一: 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) 機能検証フェーズ 専門委員
62. 川上純一: 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 研究成果展開事業 大学

発新産業創出プログラム (START) 専門委員

63. 川上純一: 公益財団法人日本医療機能評価機構 評議員
64. 川上純一: 一般社団法人日本医療安全調査機構 医療事故調査・支援事業運営委員会 委員
65. 堀雄史: 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 市販後データサイエンスアドバイザーグループ委員
66. 川上純一: 地方独立行政法人静岡市立静岡病院 医療事故調査委員会 委員
67. 川上純一: 公益財団法人臨床薬理研究振興財団 選考委員
68. 川上純一: 国立大学附属病院長会議常置委員会 医療安全・質向上のための相互チェック実施に伴う重点項目の評価方法と基準の作成等に係るワーキンググループ委員
69. 川上純一: 国立大学附属病院長会議常置委員会 特定機能病院間相互のピアレビュー実施に伴う調査項目の評価方法と基準の作成等に係るワーキンググループ委員

#### J. 学術雑誌への貢献

1. 堀雄史: 国際薬剤疫学会 学会誌 (Pharmacoepidemiology and Drug Safety) 編集委員 (Associate editor)
2. 川上純一: 日本医療薬学会 学会誌 (Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences, Japanese Society of Pharmaceutical Health Care and Sciences) 編集委員 (Editorial advisory board)

#### K. 研究会

1. 川上純一: 平成 30 年度診療報酬改定について. 平成 30 年度診療報酬改定説明会, 東京都病院薬剤師会, 東京, 2018.4.13
2. 川上純一: 地域包括ケアにおける薬剤師の役割: 入退院支援・病診薬連携の重要性. メディカルスタッフ特別企画: 消化器診療における病院から在宅へのチーム医療の現状と課題, 第 104 回日本消化器病学会総会, 東京, 2018.4.21
3. 川上純一: 30 年度診療報酬改定が示す病院薬剤師の方向性. 平成 30 年度三重県病院薬剤師会通常総会特別講演, 津, 2018.4.21
4. 川上純一: 平成 30 年度診療報酬改定について. 大阪府病院薬剤師会社会保険制度委員会研修会, 大阪, 2018.4.23
5. 川上純一: 30 年度診療報酬改定のポイントとバイオシミラーを取り巻く環境. 大分

県病院薬剤師会学術講演会, 大分, 2018.4.28

6. 川上純一: 30年度診療報酬改定のポイントとバイオシミラーを取り巻く環境. 鹿児島県病院薬剤師会臨床薬学研究会, 鹿児島, 2018.5.9
7. 川上純一: 30年度診療報酬改定が示す病院薬剤師の方向性. 日本病院薬剤師会東北ブロック第8回学術大会, 盛岡, 2018.5.20
8. 川上純一: 大学病院薬剤師に求められること: 診療報酬改定や医療政策をふまえて. 平成30年度国公立大学病院医療技術関係職員研修, 東京, 2018.5.28
9. 川上純一: 病院薬剤師関連の30年度診療報酬改定と今後の方向性. 平成30年度第54回秋田県病院薬剤師会総会学術講演会, 秋田, 2018.6.2
10. 川上純一: 30年度診療報酬改定と病院・診療所薬剤師の今後の方向性. 第40回みと臨床薬剤セミナー, 茨城県病院薬剤師会, 水戸, 2018.6.5
11. 川上純一: 平成30年度診療報酬改定のポイント: 病院薬剤師関連を中心に. 平成30年度全国自治体病院協議会薬剤部長部会研修会, 神戸, 2018.6.8
12. 川上純一: 薬剤師を巡る最近の話題. 平成30年度病院診療所薬剤師研修会, 日本薬剤師会, 福岡, 2018.6.9; 広島, 2018.7.28; 仙台, 2018.7.29; 札幌, 2018.9.8; 東京, 2018.10.13; 名古屋, 2018.10.27; 大阪, 2018.11.17; 広島, 2019.3.16
13. 川上純一: 30年度診療報酬改定と地域連携・医薬品適正使用: ジェネリック推進も含めて. 静岡県病院薬剤師会西部支部例会, 浜松, 2018.6.21
14. 川上純一: 医薬品関連の30年度診療報酬改定と政策動向. 浜松市医師会第381回生涯教育研修会(第2,654回診療協議会), 浜松, 2018.6.28
15. 川上純一: 医療政策の動向とバイオシミラー使用促進. 第18回国際薬理学・臨床薬理学会議(WCP2018)・第39回日本臨床薬理学会学術総会, 京都, 2018.7.2
16. 川上純一: 30年度診療報酬改定のポイントと病院薬剤師に求められること. 第327回岐阜県病院薬剤師会研修・学術講演会, 岐阜, 2018.7.14
17. 川上純一: 平成30年度診療報酬改定後の病院・薬局薬剤師. シンポジウム: 未来志向で考える薬剤師へのミチシルベ, 第11回日本在宅薬学会学術大会, 大阪, 2018.7.15
18. 川上純一: 30年度診療報酬改定と病院薬剤部門マネジメントに求められること. 神奈川県病院薬剤師会・ファーマシーマネジメントセミナー, 横浜, 2018.7.17
19. 川上純一: 30年度診療報酬改定をふまえたこれからの薬剤業務のあり方. 平成30年度北海道自治体病院協議会薬剤部会総会研修会, 札幌, 2018.7.21
20. 川上純一: 30年度診療報酬改定のポイントと病院薬剤師に今後求められること. 福岡県病院薬剤師会筑後支部会学術講演会, 久留米, 2018.8.4

21. 川上純一: 「成長して、信頼されて、活躍できる」病院薬剤師になるためのキーポイント. 静岡県病院薬剤師会・平成 30 年度新人研修会, 静岡, 2018.8.19
22. 川上純一: フォーミュラリーの考え方と実践. 地域フォーミュラリー講演会, 地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネット・酒田地区薬剤師会・酒田地区医師会十全堂, 酒田, 2018.10.4
23. 川上純一: 30 年病院薬剤師関連の医療政策の動向と病院薬剤部門マネジメント. 浜名湖ファーマシストマネジメントセミナー2018, 静岡県病院薬剤師会西部支部, 浜松, 2018.10.6
24. 川上純一: 精神科薬剤師関連の 30 年度診療報酬改定と今後の期待. 第 12 回精神科専門薬剤師セミナー, 精神科臨床薬学研究会, 東京, 2018.10.14
25. 川上純一: 医療政策の動向と病院薬剤師の今後の方向性. 平成 30 年度静岡県東部地区ファーマシストセミナー, 静岡県病院薬剤師会東部支部, 沼津, 2018.10.20
26. 川上純一: 東海から、未来の薬学・医療を築く!: 政策動向と薬剤師に求められること. 東海合同学術セミナー, 静岡県病院薬剤師会, 静岡, 2018.11.4
27. 川上純一: バイオシミラーを評価するポイントと病院での導入事例. 厚生労働省主催講習会: バイオ医薬品とバイオシミラーを正しく理解していただくために, 名古屋, 2018.12.1
28. 川上純一: 医療政策の動向と薬剤師に求められること. 平成 30 年叙勲受賞者・表彰者祝賀記念講演会, 富山県薬剤師会, 富山, 2018.12.8
29. 川上純一: これからの医療政策の動向と病院薬剤師を巡る状況. 全国済生会病院薬剤師会平成 30 年度薬剤部科局長研修会, 東京, 2018.12.14
30. 川上純一: バイオシミラーを評価するポイントと病院での導入事例. 厚生労働省主催講習会: バイオ医薬品とバイオシミラーを正しく理解していただくために, 札幌, 2018.12.15
31. 川上純一: バイオ医薬品・バイオシミラーって何?. 厚生労働省主催市民公開講座: バイオ医薬品とバイオシミラーを正しく理解していただくために, 奈良, 2019.1.19
32. 川上純一: 活用していますか?ジェネリック医薬品. 第 9 回香川県ジェネリック医薬品セミナー (市民公開講座), 香川県, 高松, 2019.1.20
33. 川上純一: 大学病院における新医薬品評価とフォーミュラリーの取り組み. 平成 30 年度第 3 回 JASDI フォーラム: 病院における新医薬品の評価とフォーミュラリー, 日本医薬品情報学会, 東京, 2019.1.26
34. 川上純一: 薬剤師を取り巻く社会的情勢と医療等提供体制における役割. 平成 30 年度次世代薬剤師指導者養成研修会, 静岡県薬剤師会, 静岡, 2019.2.16

35. 川上純一: 地域医療連携における薬剤師の果たすべき役割. 第 43 期近畿地協病院薬剤師交流集会, 大阪民主医療機関連合会, 大阪, 2019.2.17
36. 川上純一: バイオシミラーを評価するポイントと病院での導入事例. 厚生労働省主催講習会: バイオ医薬品とバイオシミラーを正しく理解していただくために, 福岡, 2019.3.10
37. 川上純一: バイオシミラーに関する政策と医療現場への導入. ジャパンライフサイエンスウィーク・オンコロジーコンファレンス 2019, 東京, 2019.3.18

#### L. 学外講義・特別講演

1. 大城隼也: 妊娠と薬外来相談の概要と浜松医科大学医学部附属病院における相談実績. 静岡県病院薬剤師会平成 30 年度第 1 回妊婦・授乳婦薬物療法研修会, 静岡, 2018.6.2
2. 堀雄史: 病院での薬剤師業務および患者様と接して感じること. 富山大学薬学部『薬学経済』特別講義, 富山, 2018.6.8
3. 山田尚広: AST の取り組み～薬剤師の立場から～. 国公立大学附属病院感染対策協議会平成 30 年度感染管理担当者ブロック別研修会 (東海・北陸地区), 津, 2018.7.5
4. 青野浩直: 薬剤の基礎知識 (処方せんの知識). 第 18 期医師事務作業補助者コース研修会, 静岡, 2018.7.21
5. 山田尚広: 浜松市内における連携・活動について. 平成 30 年度静岡県病院薬剤師会西武支部北ブロック会, 浜松, 2018.9.27
6. 柴田海斗: がん薬物療法における抗体医薬品の適正使用～チーム医療における薬剤師の取り組み～. 静岡県病院薬剤師会西部支部例会, 浜松, 2019.2.21

#### M. 院内講義・講演

1. 堀雄史: 医薬品のリスクマネジメント (処方入力、薬剤使用の注意点). プライマリ・ケア実践講座, 2018.4.7
2. 堀雄史: 医薬品の管理. 看護部新採用者研修, 2018.4.16
3. 田中紀章: 薬剤と栄養剤の経管投与について. 第 161 回 NST 講習会, 2018.5.28
4. 山田尚広: 抗菌薬適正使用 Episode 1. 第 1 回感染対策講習会, 2018.6.26
5. 山田尚広: 抗菌薬適正使用 Episode 2. 第 2 回感染対策講習会, 2018.11.30
6. 柴田海斗: オピオイドってどんな薬? 事例に基づいて考えてみよう!. 第 2 回緩和ケア講習会, 2018.8.7
7. 志田拓顕: 上手に使おう! 「薬」と「薬〇〇」. 第 40 回緩和ケア患者向け講習会ス



ノードロップ, 2018.10.24

8. 堀雄史: 医薬品使用の安全管理. 2018 年度第 2 回医療安全講習会, 2019.2.6

#### N. 研究助成

1. 川上純一 (代表), 内藤隆文 (分担): 平成 30 年度科学研究費補助金, 基盤研究 (C) 「がん患者における神経障害性疼痛治療薬の鎮痛効果および有害作用の変動予測法の構築」 (平成 30-32 年度) (新規)
2. 内藤隆文 (代表), 川上純一 (分担): 平成 30 年度科学研究費補助金, 基盤研究 (C) 「がん患者における薬物代謝酵素の活性マーカーを用いたオピオイドの体内動態予測の評価」 (平成 29-31 年度) (継続)
3. 堀雄史 (分担), 今任拓也 (分担), 佐井君江 (代表): 平成 30 年度科学研究費補助金, 基盤研究 (C) 「医療ビッグデータを用いた免疫機序による重篤副作用の発症リスク要因の同定及び評価」 (平成 28-30 年度) (継続)
4. 山田尚広 (代表): 平成 30 年度科学研究費補助金, 若手研究 (B) 「トキシコキネティクスに着目した第 3 世代アゾール系抗真菌薬の投与設計法の確立」 (平成 29-31 年度) (継続)
5. 八木達也 (代表): 平成 30 年度科学研究費補助金, 若手研究 (B) 「術後患者におけるデクスメトミジンの体内動態および臨床効果の個人差要因の解明」 (平成 28-30 年度) (継続)
6. 阿部一樹 (代表): 平成 30 年度科学研究費補助金, 奨励研究 「定量的標的プロテオミクスを用いた迅速かつ簡便な血中ニボルマブ絶対濃度測定法の開発」 (新規)
7. 大澤隆志 (代表): 平成 30 年度科学研究費補助金, 奨励研究 「新規プロテアソーム阻害薬の薬物動態の解明による治療の最適化」 (新規)
8. 大城隼也 (代表): 平成 30 年度科学研究費補助金, 奨励研究 「関節リウマチ患者におけるタクロリムスの体内動態および薬効の個人差要因の解析」 (新規)
9. 加藤真也 (代表): 平成 30 年度科学研究費補助金, 奨励研究 「胃がん腹膜播種に対するトラスツズマブ腹腔内直接投与を用いた新規治療法の開発」 (新規)
10. 佐藤聖 (代表): 平成 30 年度科学研究費補助金, 奨励研究 「がん悪液質患者における miRNA の発現変動とオキシコドンの体内動態との関係解明」 (新規)
11. 志田拓頭 (代表): 平成 30 年度科学研究費補助金, 奨励研究 「デノスマブの体内動態に血清イムノグロブリンと RANKL が及ぼす影響の検討」 (新規)
12. 柴田海斗 (代表): 平成 30 年度科学研究費補助金, 奨励研究 「頭頸部がん患者における可溶性 EGFR 濃度とセツキシマブの薬効・副作用との関係解析」 (新規)

13. 白神霞（代表）：平成 30 年度科学研究費補助金, 奨励研究「高温逆相 HPLC 蛍光法による血清中ペムブロリズマブ濃度測定法の開発」(新規)
14. 田中紀章（代表）：平成 30 年度科学研究費補助金, 奨励研究「ロチゴチン経皮吸収製剤の薬物動態・薬効に及ぼす個人差要因の解明」(新規)
15. 田中達也（代表）：平成 30 年度科学研究費補助金, 奨励研究「トラマドールと主代謝物の血中動態と臨床効果に及ぼす薬物代謝酵素の遺伝子変異の影響」(新規)
16. 三浦基靖（代表）：平成 30 年度科学研究費補助金, 奨励研究「ベバシズマブ投与における高血圧発症と効果予測の関連性および血圧変動要因の解明」(新規)
17. 吉川望美（代表）：平成 30 年度科学研究費補助金, 奨励研究「がん患者におけるプレガバリンの血中動態と中枢症状発現との関係解析」(新規)
18. 内藤隆文（代表）：平成 30 年度臨床薬理研究振興財団賞学術奨励賞, 臨床薬理研究振興財団, 学術奨励金「抗体医薬の TDM の普及のためのヒト血清中濃度測定の実験ワークフローの構築」(新規)
19. 八木達也: 浜松医科大学. 平成 30 年度若手研究者の国際学会発表支援
20. 田中達也: 浜松医科大学. 平成 30 年度大学院学生に対する海外研究活動支援
21. 田口怜奈: 浜松医科大学. 平成 30 年度大学院学生に対する海外研究活動支援
22. 柴田海斗: 浜松医科大学. 平成 30 年度大学院学生に対する海外研究活動支援
23. 阿部一樹: 浜松医科大学. 平成 30 年度大学院学生に対する海外研究活動支援
24. 星川昂平: 浜松医科大学. 平成 30 年度大学院学生に対する海外研究活動支援
25. 柴田海斗: IATDMCT2018, Brisbane, Travel Grant
26. 阿部一樹: IATDMCT2018, Brisbane, Travel Grant
27. 内藤隆文: 日本病院薬剤師会. 海外派遣助成 (International Pharmaceutical Federation (FIP) 2018, Hospital Pharmacy Section)
28. 山田尚広（代表）：浜松医科大学. 平成 30 年度若手研究プロジェクト「ポリコナゾール N オキシド体曝露による皮膚酸化ストレス発生機序の解明」(新規)
29. 石田卓矢（代表）, 内藤隆文（分担）：公益財団法人 薬学研究奨励財団. 第 39 回 (平成 30 年度) 研究助成金 (グループ B) 「非小細胞肺癌におけるがん悪液質の進行度と EGFR-TKI の薬物動態および有害作用との関係解明」(新規)
30. 佐藤聖（代表）, 内藤隆文（分担）, 志田拓頭（分担）：公益財団法人 中富健康科学振興財団. 第 31 回研究助成金 (平成 30 年度) 「がん性疼痛患者における血中 miRNA を用いたオピオイドの鎮痛効果予測の評価」(新規)
31. 星川昂平: ASCPT 2019 Annual Meeting, Washington DC, Travel Grant
32. 鈴木光路: ASCPT 2019 Annual Meeting, Washington DC, Travel Grant

## O. 共同研究

### 【学内】

1. 小川法良（免疫リウマチ内科），鈴木基裕（整形外科）：関節リウマチ患者における免疫抑制薬の体内動態と薬効および有害反応との関係
2. 土井松幸（集中治療部）：集中治療管理下における鎮静剤の臨床効果および有害作用の個人差要因の解明
3. 須田隆文（呼吸器内科）：非小細胞肺癌患者における抗がん薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
4. 山田康秀（臨床腫瘍学），細川誠二（耳鼻咽喉科）：がん患者における鎮痛薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
5. 三宅秀明（泌尿器科）：腎細胞がん患者における抗がん薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
6. 川田一仁（肝臓内科）：肝硬変患者における利尿薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
7. 前川裕一郎（循環器内科）：心不全患者における利尿薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
8. 須田隆文（呼吸器内科）：特発性肺線維症患者における抗線維化薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
9. 細川誠二（耳鼻咽喉科）：頭頸部がん患者における抗がん薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
10. 小野孝明（血液内科），古橋一樹（検査部）：易感染性患者における抗真菌薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
11. 古橋一樹（検査部）：抗 MRSA 薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
12. 伊東宏晃（周産母子センター）：周産期患者における降圧薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
13. 山末英典（精神神経科）：統合失調症患者における精神神経用薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
14. 安田日出夫（腎臓内科）：副腎皮質ステロイド薬の薬物間相互作用の定量的評価
15. 戸倉新樹（皮膚科）：抗真菌薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
16. 木村道男（医療情報部）：臨床研究情報システムを用いた副作用の検出方法に関する検討

17. 古田隆久 (臨床研究管理センター) : 酸関連疾患患者における胃酸分泌抑制薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築

#### P. 受賞

1. Hoshikawa K, Naito T, Saotome M, Maekawa Y, Kawakami J. Relationships between plasma concentration of tolvaptan and endogenous markers of CYP3A in heart failure patients. Top Poster Designation, 120th Annual Meeting of the American Society for Clinical Pharmacology and Therapeutics (ASCPT 2019 Annual Meeting) (Washington DC, USA)
2. 田口怜奈, 内藤隆文, 久保野尚子, 小川法良, 伊東宏晃, 川上純一. 産褥期女性における CYP3A 活性の内因性マーカーおよびアムロジピンの血中挙動の定量的評価. 第 28 回日本医療薬学会年会. 2018 年 11 月 (神戸) (優秀演題賞受賞)
3. Shibata K, Naito T, Okamura J, Hosokawa S, Mineta H, Kawakami J. Relationships between serum cetuximab and biomarkers related to EGFR signal inhibition, and skin disorders in head and neck cancer patients. 海老原賞, 日本 TDM 学会 (平成 30 年度)
4. Abe K, Shibata K, Naito T, Kawakami J. Simple and rapid LC-MS/MS method for quantifying nivolumab in human serum using an immobilized tryptic digestion coupled to IgG purification. 海老原賞, 日本 TDM 学会 (平成 30 年度)
5. 内藤隆文 学術奨励賞, 臨床薬理研究振興財団賞, 臨床薬理研究振興財団, 日本臨床薬理学会 (平成 30 年度) 抗体医薬の TDM の普及のためのヒト血清中濃度測定の実験ワークフローの構築

#### Q. 資格認定

1. 日本病院薬剤師会 感染制御認定薬剤師 2 名
2. 日本病院薬剤師会 感染制御専門薬剤師 1 名
3. 日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師 1 名
4. 日本病院薬剤師会 生涯研修履修認定薬剤師 14 名
5. 日本病院薬剤師会 日病薬認定指導薬剤師 11 名
6. 日本病院薬剤師会 放射性医薬品取り扱いガイドライン講習 受講 15 名
7. 日本医療薬学会 指導薬剤師 6 名
8. 日本医療薬学会 認定薬剤師 15 名
9. 日本医療薬学会 薬物療法専門薬剤師 2 名
10. 日本医療薬学会 薬物療法指導薬剤師 2 名

11. 日本臨床薬理学会 指導薬剤師 3名
12. 日本臨床薬理学会 認定薬剤師 7名
13. 日本臨床薬理学会 認定CRC 1名
14. 日本薬剤師研修センター 認定薬剤師 9名
15. 日本薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師 10名
16. 日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師 1名
17. 日本静脈経腸栄養学会 栄養サポートチーム専門療法士 4名
18. 日本糖尿病療養指導士認定機構 糖尿病療養指導士 3名
19. 妊娠と薬情報センター拠点病院業務研修会 受講 5名
20. 日本薬剤疫学会 ファーマコビジランス・スペシャリスト認定 1名
21. 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 レギュラトリーサイエンスエキスパート (PV分野) 1名
22. 日本DMAT 隊員 1名
23. 静岡DMAT-L 隊員 1名
24. 日本臨床化学会 認定臨床化学者 1名
25. 有機溶剤作業主任者 技能講習受講 1名
26. 普通第一種圧力容器取扱作業主任者 技能講習受講 1名

#### R. 施設認定

1. 日本医療薬学会 認定薬剤師研修施設
2. 日本医療薬学会 がん専門薬剤師研修施設
3. 日本医療薬学会 薬物療法専門薬剤師研修施設
4. 日本臨床薬理学会 認定薬剤師研修施設
5. 厚生労働省薬剤師養成事業 実務研修生受入施設

#### S. 学位申請

1. 志田拓頭：博士（医学）浜松医科大学（2019年2月）「固相化トリプシンを用いた迅速タンパク質消化によるヒト血清中デノスマブ定量のための LC-MS/MS 法. LC-MS/MS method for denosumab quantitation in human serum with rapid protein digestion using immobilized trypsin」
2. 柴田海斗：博士（医学）浜松医科大学（2019年3月）「固相化トリプシンを用いたヒト血清中セツキシマブの絶対濃度測定のための簡易で迅速な LC-MS/MS 法. Simple and rapid LC-MS/MS method for the absolute determination of cetuximab in

human serum using an immobilized trypsin」

3. 田中達也：博士（医学）浜松医科大学（2019年3月）「がん患者におけるトラマドールおよびその脱メチル代謝物の血中濃度と薬物忍容性に及ぼす CYP 遺伝子型と炎症マーカーの影響. Impact of CYP genotype and inflammatory markers on the plasma concentrations of tramadol and its demethylated metabolites and drug tolerability in cancer patients」

#### T. 学位

川上純一（薬学）

内藤隆文（薬学）

堀雄史（臨床薬学）

加藤真也（医学）

丸山修治（医療薬学）

見野靖晃（医療薬学）

八木達也（医学）

大城隼也（薬学）

大澤隆志（医学）

山田尚広（医学）

石田卓矢（医学）

佐藤聖（医学）

志田拓顕（医学）

柴田海斗（医学）

田中達也（医学）

計 15 名

大学院生

浜松医科大学の大学院生 13 名

他大学の大学院生 2 名

計 15 名